



# 平成27年スタート!「大家族たかはま」



## 二元代表制の 一役をしっかりと果たして 高浜市議会議長 磯貝正隆

高浜市議会議長 磯貝正隆

新年あけましておめでとうございます。日ごより市政ならびに市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月に17年ぶりに消費税率が8%へ引き上げられましたが、今秋予定されていた10%への引き上げは先送りされました。総人口に占める高齢者割合が25%超の今日、年金・医療・介護・少子化対策の財源確保は依然厳しい状況といわざるを得ません。

また、平成26年8月の広島市北部の大規模土砂災害では、死者74人、重軽傷者44人にのぼり、7年ぶりにおきた9月の御嶽山噴火では、死者50人以上を数えるなど、自然の脅威を再認識した年でもありました。

その一方で、10月には、技術的に困難といわれていた青色LED（発光ダイオード）の開発に成功した赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏がノーベル物理学賞を受賞するなど、ものづくり大国・日本の底力を感じる明るい話題もありました。

高浜市議会では、平成26年6月定例会において「公共施設あり方検討特別委員会」を設置いたしました。公共施設の再生は、少子高齢化のさらなる進行や生産年齢人口の減少、自治体を取り巻く環境の変化などにより、必然であるものの、多額の財政負担が見込まれます。この特別委員会では、議会として真に必要なとされる「公共施設の再生」をめざし、審査・調査・研究をしていきます。

私も高浜市議会議員は、本年4月29日に任期満了を迎えます。残りわずかとなりましたが、「第6次高浜市総合計画」の着実な推進と将来都市像である「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向けて、二元代表制の一役をしっかりとお果たしてまいります。

最後に、市民の皆さま方のご健勝とご多幸をお祈りいたします。年頭のごあいさつとさせていただきます。

